

香美町香住区就学前施設再編のあり方（案）
（施設配置・時期・定員数等）
に関する検討内容

令和7年4月

香美町香住区就学前施設再編検討委員会

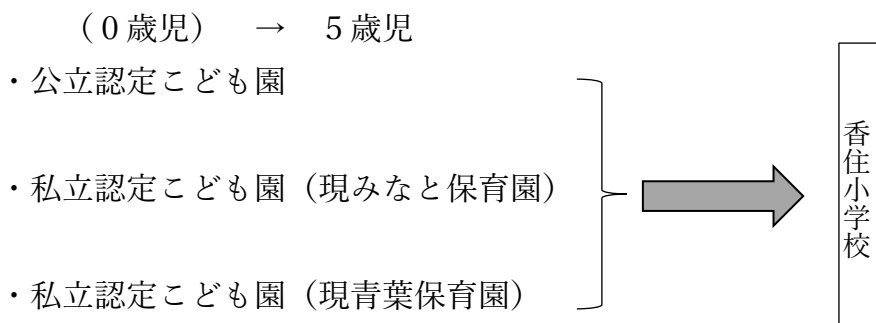
【目 次】

①施設配置について	P 1
②施設の設置箇所について	P 4
③再編の時期について	P 5
④各施設の定員数について	P 6

1. 施設配置について

1. 施設配置

公立1 + 私立2 の3つの認定こども園を配置する。



2. 提案理由等

(1) 現行体制の継続について

「現在の就学前の体制のままでよい。」という意見があったが、急激な少子化が進行するなか、小学校等の再編を受け、就学前の施設についても、提供する教育・保育の質や施設の維持管理等も含め、子どもの数に応じた施設のあり方へ再編していく必要があると考える。

「香住区における就学前施設のあり方に関するアンケート調査（令和6年1月実施、以下「あり方アンケート調査」という。）」においても、著しい少子化を受け、「再編すべきである」「どちらかと言えば再編すべきである」という再編を求める声が82%であった。

(2) 私立保育園の認定こども園化について

香美町香住区就学前施設再編検討委員会（以下「検討委員会」という。）において、私立みなと保育園（社会福祉法人光明福祉会）及び私立青葉保育園（社会福祉法人青葉福祉会）の両園の認定こども園化の意志が明確に伝えられた。町としては、国・県が認定こども園化を推進するなか、保育園を運営する社会福祉法人の持続可能な経営的な面にも配慮が必要で、私立保育園の認定こども園化を支援する立場にある。

(3) 香住幼稚園の継続の可否について

第2回検討委員会における委員の意見では、香住幼稚園を残し5歳児に一

律の教育を受けさせることを求める声が少なからず見受けられた。急激に少子化が進み将来的な年間出生数が30人程度となることが見込まれる香住区において、5歳児まで利用可能な「認定こども園」と5歳児が利用可能な「幼稚園」を混在させることは、少子化を踏まえた就学前施設の再編を検討するにあたり適切でないと考える。

(4)私立と公立の施設配置について

私立保育園の認定こども園化の意向を受け、将来的な少子化を踏まえると、私立認定こども園2園体制も一つの案として考え得るが、検討委員会における委員の意向やあり方アンケート調査の結果から、各施設の運営方針・保育内容等の特徴を踏まえ、公立と私立の選択肢があることを望む声が多く見受けられた。こうした保護者の要求に応えるため、公立の就学前施設の設置が欠かせないとする。

私立保育園の認定こども園化を受け、香住幼稚園については先述のとおり「幼稚園」として継続しないとする考えを示した。また、柴山保育所については、香住区に「幼稚園」を設置しないこととなれば、柴山保育所で4歳児までの保育を提供した後、5歳児の教育・保育はどこで受けるのかと混乱を招くこととなる。公立の幼稚園と保育所に代わり5歳児までの教育・保育を提供可能な公立の認定こども園の設置が必要となる。

あり方アンケート調査では、回答者の90%が「認定こども園を知っている」と回答しており、さらにその80%が「認定こども園を利用したい」という回答であった。理由としては、「0歳から5歳まで同じ施設で預かってもらえることが、子どもへの精神的負担が少なく、保護者としても安心である」「幼稚園時の用品購入が経済的負担となる」「長期休業中の保育が受けられる」といった声が挙がっていた。

また、あり方アンケート調査における香住区の将来の就学前施設のあり方については、「公立・私立の3つの認定こども園を設置する。」という意見が44%と最も多かった。

(5)再編の方向性について

これらを踏まえ総合的に判断し、町としては香住区において、長年続いてきた就学前施設の教育・保育の体制を一新し、国・県が進める認定こども園制度を活用し、公立1園、私立2園の3つの認定こども園を設置することとし、社会情勢や教育・保育のニーズの変化に対応した就学前の教育・保育環

境の充実を図っていくこととする。

(6)公立・私立就学前施設における教育・保育の一律の質の確保

①【香美町版】就学前の教育・保育のスタンダードカリキュラムの策定

町内の公立及び私立の就学前施設の教育・保育の指針となるカリキュラムを策定する。

②公立・私立就学前施設職員の合同研修の実施

スタンダードカリキュラムに適合した教育・保育が提供されるよう、公立・私立の共同研修を開催する。

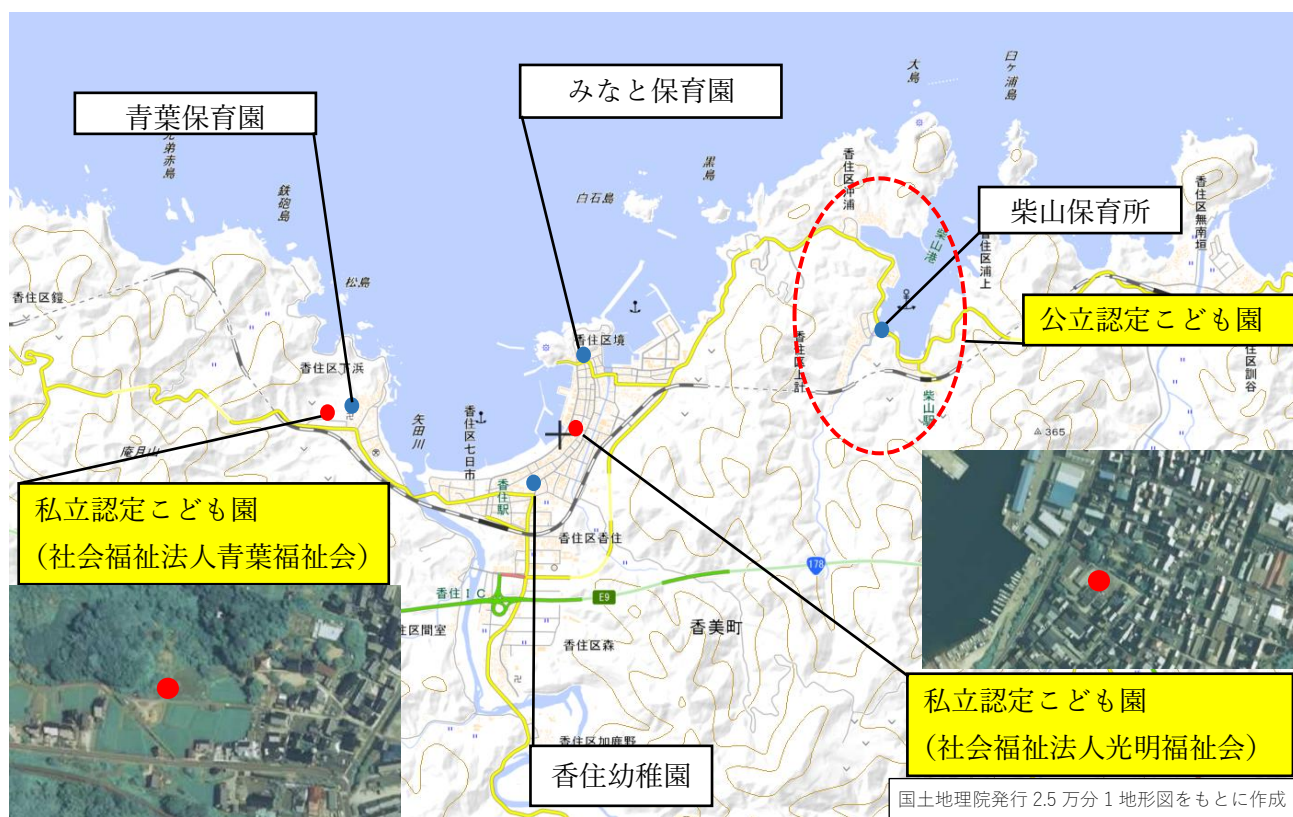
③指導主事（就学前教育・保育経験者）による訪問指導

私立認定こども園も含め、指導主事の定期訪問によるスタンダードカリキュラムに基づく、教育・保育の実践指導を行う。

2. 施設の設置箇所について

1. 各認定こども園の設置箇所について

- (1) 私立認定こども園 2 園は、香住地区に設置する。
- (2) 公立認定こども園は、柴山地区に設置する。



2. 提案理由等

- (1) 保育所（園）のこれまでの利用状況を見ると、みなと保育園（社会福祉法人光明福祉会）及び青葉保育園（社会福祉法人青葉福祉会）は、主に香住地区、長井地区、余部地区在住者が利用し、公立の柴山保育所は、主に柴山地区、奥佐津地区、佐津地区在住者が利用している。
- (2) 第 4 回の香住区就学前施設再編検討委員会において、多くの委員から公立認定こども園を柴山地区に設置する提案があった。その理由として、奥佐津・佐津・柴山地区の保護者の送迎の利便性や、公立認定こども園の開設に当たり既存の施設（柴山小学校・柴山保育所）の活用により経費縮減等が期待できるといった意見があった。

- (3) あり方アンケート調査において、「保育所（園）を選んだ（選ぶとしたら）理由」という設問に対し、最も多い理由は「自宅に近いから」（28.0%）、「父母以外の送迎者（祖父母等）の都合がよいから」（13.2%）、「職場（父母の勤務先）に近いから」（9.4%）と、「送迎の利便性」を挙げる回答が多く（計 50.6%）見受けられた。
- (4) 社会福祉法人光明福祉会（みなと保育園）及び社会福祉法人青葉福祉会（青葉保育園）は、いずれも香住地区内にすでに認定こども園の建設用地を取得している。
- (5) 以前から特に奥佐津地区、佐津地区、柴山地区の在住者は公立柴山保育所を利用する方が多く、引き続きこれらの地域在住者の送迎の利便性等に配慮し、同保育所のある柴山地区に公立認定こども園を設置することとする。

3. 再編の時期について

1. 時期

令和10年4月（令和10年度）に3園同時に運営開始する。

2. 提案理由等

各認定こども園の認可や施設整備に要する手続き等を踏まえ、早くとも令和10年度の運営開始を見込む。

4. 各施設の定員数について

1. 定員数の考え方

各認定こども園の設置箇所を香住地区に2園、柴山地区に1園としたことを踏まえ、各保育所（園）のこれまでの利用者の利用実態（定員数、利用者数、利用者の住所地）に基づき、旧小学校区ごとに香住・長井・余部小学校区エリアと奥佐津・佐津・柴山小学校区エリアを設定し、各エリアの今後の想定利用者数に応じた各認定こども園の認可定員数を割り振ることとする。

ただし、私立認定こども園2園については、原則として認可定員数は同数とし、今後の少子化を踏まえ各園が将来運営の持続可能な定員数を判断することとする。なお、認可定員数（案）を上限とし、特別な事由があれば別途検討・調整することとする。

なお、住所地に基づく施設ごとの入所申込の制限は行わないこととする。

【認可定員数の上限】

（単位：人）

施設名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	施設別計
公立認定こども園	4	7	7	7	10	10	45
私立認定こども園 （みなと保育園）	10	15	15	15	15	20	90
私立認定こども園 （青葉保育園）	10	15	15	15	15	20	90
計	24	37	37	37	40	50	225

※今後、就学前児数（見込み）に対し、著しい就学前児の変動等が見込まれた場合は、認可定員数（案）を見直すこととする。

※認定別（1号、2号、3号）の定員数等の内訳については、認可申請に向け各園と調整する。

2. 提案理由等

(1) 第4回の香住区就学前施設再編検討委員会において、多くの委員から実情に合わせた配分方法という意見があった。この実情の把握方法として、保護者アンケートを実施した上で人数配分を求める声も多く挙がったが、保護者アンケートに代わるものとして「香住区保育所（園）学校区別利用園児数の内訳」（別

資料)によって、実情(利用状況の推移や利用者の傾向)を把握することとした。

- (2) 公立認定こども園を柴山地区に配置することとし、均等割りではなく、現在の保育所(園)の定員及び実情(これまでの利用状況、特に今後の住所地等ごとの対象者数の推移)を踏まえた定員数の割り振りを行うこととした。
- (3) 特に再編初年度となる令和10年度の香住区在住利用者に待機児童が生じないように配慮し、その後の利用者数(見込み)に過少とならないよう、3園の合計定員数を設定する。
- (4) 私立認定こども園(2園)については、入所者数が運営(経営)に大きく影響するため、一定規模を維持する必要があることにも配慮し、認定こども園開設時の認可定員数は同数とする。
- (5) 少子化の進行や社会情勢の変化を鑑み、将来的に各施設の利用定員は必要に応じて、協議の上、調整することもありうる。
- (6) 現在の各保育所(園)の利用において、入所申込時(利用希望)に住所地に基づく利用制限を行っていない。就学前施設の再編(認定こども園化)後においても、住所地に基づく施設ごとの入所申込の制限は行わないこととする。

【資料１】令和10年度～令和15年度の就学前施設対象者数・利用者数の推移

(単位:人)

年度	年齢		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	利用率
	想定利用率	年度当初	14.6%	74.4%	79.8%	100.0%	100.0%	100.0%		
		年度末	70.0%	95.0%	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
令和10年度	対象者数		31	32	34	27	37	47	208	
	想定利用者数	年度当初	5	24	28	27	37	47	168	80.8%
		年度末	22	31	33	27	37	47	197	94.7%
令和11年度	対象者数		30	31	32	34	27	37	191	
	想定利用者数	年度当初	5	24	26	34	27	37	153	80.1%
		年度末	21	30	31	34	27	37	180	94.2%
令和12年度	対象者数		29	30	31	32	34	27	183	
	想定利用者数	年度当初	5	23	25	32	34	27	146	79.8%
		年度末	21	29	30	32	34	27	173	94.5%
令和13年度	対象者数		29	29	30	31	32	34	185	
	想定利用者数	年度当初	5	22	24	31	32	34	148	80.0%
		年度末	21	28	29	31	32	34	175	94.6%
令和14年度	対象者数		29	29	29	30	31	32	180	
	想定利用者数	年度当初	5	22	24	30	31	32	144	80.0%
		年度末	21	28	28	30	31	32	170	94.4%
令和15年度	対象者数		29	29	29	29	30	31	177	
	想定利用者数	年度当初	5	22	24	29	30	31	141	79.7%
		年度末	21	28	28	29	30	31	167	94.4%

※令和10年度の3歳児から5歳児については、令和6年11月22日現在で把握可能な実人数を挙げた。0歳児から2歳児については、香美町香住区就学前施設再編検討委員会（資料）にある『香住区の年齢別就学前施設利用者数（見込）の推移』の数値を基に、学校区別に割り振った。

※想定利用率については、次のとおりとした。

- ・0歳児から2歳児の想定利用率は年度当初は『香住区の年齢別就学前施設利用者数（見込）の推移』を基に、年度末は令和5年度末及び令和6年度1月末の利用状況から高い利用率を採用した。
- ・3歳児から5歳児の想定利用率は、認定こども園化に伴い保育に欠けるか否かに関わらず利用できること及び保育料が無償化されていることから、100%とした。

【資料2-1】令和10年度 香住区学校区別就学前児数（見込み）等（年度当初を想定）

令和6年11月22日現在

令和6年11月22日現在

エリア	学校区	対象人数	0歳児	満1歳児	満2歳児	満3歳児	満4歳児	満5歳児	計
		利用見込数（率）	14.6%	74.4%	79.8%	100.0%	100.0%	100.0%	
1	旧香住小学校区	対象人数	24	24	25	23	25	30	151
		利用見込数	4	18	20	23	25	30	120
	長井小学校区	対象人数	2	2	2	2	1	7	16
		利用見込数	0	1	2	2	1	7	13
	余部小学校区	対象人数	1	1	1	0	3	1	7
		利用見込数	0	1	1	0	3	1	6
	小計	対象人数	27	27	28	25	29	38	174
		利用見込数	4	20	23	25	29	38	139
2	旧奥佐津小学校区	対象人数	1	0	1	0	2	3	7
		利用見込数	0	0	1	0	2	3	6
	旧佐津小学校区	対象人数	1	2	2	1	2	2	10
		利用見込数	0	2	2	1	2	2	9
	柴山小学校区	対象人数	2	3	3	1	4	4	17
		利用見込数	1	2	2	1	4	4	14
	小計	対象人数	4	5	6	2	8	9	34
		利用見込数	1	4	5	2	8	9	29
合計		対象人数	31	32	34	27	37	47	208
		利用見込数	5	24	28	27	37	47	168

※満4歳児～満5歳児は令和6年11月22日現在の在住者数による。

※3歳児は令和6年11月22日現在の令和6年度中の出生数及び母子手帳交付数による。

※0～2歳児の想定利用率については年度当初の利用率を採用、3～5歳児は認定こども園化を踏まえ利用率を100%とした。

【資料 2-2】令和10年度 香住区学校区別就学前児数（見込み）等（年度末を想定）

エリア	学校区	対象人数	0歳児	満1歳児	満2歳児	満3歳児	満4歳児	満5歳児	計
		利用見込数（率）	70%	95%	95%	100%	100%	100%	
1	旧香住小学校区	対象人数	24	24	25	23	25	30	151
		利用見込数	17	23	24	23	25	30	142
	長井小学校区	対象人数	2	2	2	2	1	7	16
		利用見込数	1	2	2	2	1	7	15
	余部小学校区	対象人数	1	1	1	0	3	1	7
		利用見込数	1	1	1	0	3	1	7
	小計	対象人数	27	27	28	25	29	38	174
		利用見込数	19	26	27	25	29	38	164
2	旧奥佐津小学校区	対象人数	1	0	1	0	2	3	7
		利用見込数	1	0	1	0	2	3	7
	旧佐津小学校区	対象人数	1	2	2	1	2	2	10
		利用見込数	1	2	2	1	2	2	10
	柴山小学校区	対象人数	2	3	3	1	4	4	17
		利用見込数	1	3	3	1	4	4	16
	小計	対象人数	4	5	6	2	8	9	34
		利用見込数	3	5	6	2	8	9	33
合計		対象人数	31	32	34	27	37	47	208
		利用見込数	22	31	33	27	37	47	197

※満4歳児～満5歳児は令和6年11月22日現在の在住者数による。

※3歳児は令和6年11月22日現在の令和6年度中の出生数及び母子手帳交付数による。

※0歳児～2歳児の想定利用率は、令和5～6年度の年度末の高い利用率を採用、3～5歳児の想定利用率は認定こども園化を踏まえ100%とした。

【資料3】香住区保育所（園） 学校区別利用園児の内訳

○柴山保育所

令和7年1月22日 現在

小学校区	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (申込状況)	平均	率
旧奥佐津	3	2	2	4	4	8	8	5	13.51%
旧佐津	4	6	7	6	9	9	6	7	18.92%
柴山	19	18	19	20	16	13	10	17	45.95%
香住	4	7	6	8	5	3	2	5	13.51%
長井	1	0	1	1	1	0	0	1	2.70%
余部	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
その他	1	1	2	0	1	1	2	2	5.41%
計	32	34	37	39	36	34	28	37	

○みなと保育園

小学校区	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (申込状況)	平均	率
旧奥佐津	0	0	0	0	0	1	1	1	1.18%
旧佐津	4	4	2	2	1	3	3	3	3.53%
柴山	0	0	2	2	2	3	3	2	2.35%
香住	84	75	67	56	61	61	62	67	78.82%
長井	9	5	7	5	1	5	7	6	7.06%
余部	7	6	5	3	0	0	1	4	4.71%
その他	1	1	0	0	0	2	4	2	2.35%
計	105	91	83	68	65	75	81	85	

○青葉保育園

小学校区	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (申込状況)	平均	率
旧奥佐津	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
旧佐津	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
柴山	0	0	1	0	0	0	0	1	1.18%
香住	88	84	72	73	61	53	46	69	81.18%
長井	12	12	12	8	5	5	8	9	10.59%
余部	3	4	3	4	3	5	3	4	4.71%
その他	5	1	4	3	0	0	1	2	2.35%
計	108	101	92	88	69	63	58	85	

○合計

小学校区	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (申込状況)	平均	率
旧奥佐津	3	2	2	4	4	9	9	6	2.90%
旧佐津	8	10	9	8	10	12	9	10	4.83%
柴山	19	18	22	22	18	16	13	20	9.66%
香住	176	166	145	137	127	117	110	141	68.12%
長井	22	17	20	14	7	10	15	16	7.73%
余部	10	10	8	7	3	5	4	8	3.86%
その他	7	3	6	3	1	3	7	6	2.90%
計	245	226	212	195	170	172	167	207	

※保育所（園）別 平均利用者数

施設名	平均利用者数	配分率
柴山保育所	37	17.9%
みなと保育園	85	41.1%
青葉保育園	85	41.1%
計	207	

※平均利用者数は各施設の年齢別平均値の合計